

成人病に

注意しよう

成人病とは、脳卒中、心臓病、糖尿病、高血圧症、動脈硬化症、心臓病は、原因によって発病し悪化してきやすい。

二月一日から予防週間に入ったが、年間を通じて、冬期間に一番の発病が起り易い、特に高血圧症、動脈硬化症、心臓病は、原因によって発病し悪化してきやすい。

◎夜、便所に起きないようにする。
◎水分、塩分を少なくする。
◎寝具は軽く暖かくして休む。
◎冷たい水で、洗濯やお手を洗わない。
◎食事はビタミンの豊富な生野菜、大豆、納豆、豆腐、等を御飯の二〜三倍位食す。酒は飲む前に少しならぬ。
◎夜ふかしをしない。
◎風呂に入る時、風呂場の温度に気を付け、着物をぬいでから入るまでの時間を短くし、長時間をしない。

◎病状がひどい場合は、速に専門医に診せよ。
◎安静にする(見舞客は病人に近づけないようにする。安静と他からの風邪などの病気を防ぐため)
◎水まくりは、座布団を下に入れ、その上に水まくりをする。普通の時より頭は高めに出血ありといわれているから左の場合(右)
◎足の指は、湯タンボ等二〜三個位入れ温かくする。
◎ヤケドをしないように注意。
◎食べものは意識のある時でも流動食から始め、消化のよいものを。(これはお医者さんに聞いて)
◎便時は意識があって、便所に行きたがっても、かならず差し込み便筒や尿の心を使う(二週間位)
◎軽い人程、失敗することがあります。
◎軽いといふので便所に起きたり、おかごに起きたりする人はかならずといふ程度、再発し、一週間位の間段々悪くなる

り、そのあと、なかつてもいゆる中風の状態が重くなるか、死にやすくなるか、少くとも中風が軽く、話しが出来ても話させないようにする。看護人を呼ぶ時は、鈴などを使う以上について注意を要するが、発病と同時に医師の診断を受けさせることは勿論です。

共同募金の報告について

共同募金中里分会

昭和四十二年赤い羽根共同募金、才末たすけあい募金は、行政管理局の勧告を受け、例年以上の注目を集め、今年も全国一斉に実施された訳ですが、赤い羽根共同募金は、本市十五町村のトップを切って、完結してきている親の愛情について、身近な事例をとりあげたお話しに、みんなが深い感動をうけました。

現代っ子は不安定

田沢小PTAで講演

去る一月十五日、田沢小PTAは家庭教育研究会を招き、中里地区のPTA、NPTA、児童相談所、長、野口金次郎先生の講演をききました。

「最近の世相と家庭教育」というテーマでしたが、近頃の親は、子どもに対する期待があまりにも大き過ぎ、現代っ子の感情は非常に不安定になっていること、子どもへのしつけに対する親の甘さ、自信のなさ、カラ強



表①

	目標額	実績額	目標額に対する割合
赤い羽根共同募金	218,220円	252,265円	115.6%
才末たすけあい	70,000	93,390	133.4
計	288,220	345,655	119.9

表② 才末たすけあい募金の使用内容

募金額	93,390円 (100%)
医療機関及び施設入所者の慰問	(44.4%)
要保護世帯と長期自宅療養患者の慰問	(32.3%)
被保護世帯の慰問	(7.3%)
災害者の見舞やその他の見舞	(16%)

戦没者特別給付金支給
戦没者の父母、祖父等が支給される方に特別給付金が支給されます。

①昭和十二年七月七日以後戦没された戦没者の父母、祖父等

昇段審査全員合格
去る二月十一日、長岡市夜小学校でおこなわれた昇段審査、中里村体操協会の選手七名出場し、全員合格しました。段位合格者は以下のとおり。
初段 田中良一、村山鉄夫、橋口哲夫、大島勝利、田村博康、田村博康
なほ滝沢一郎君は、昨年すでに二段に昇格しております。

飼犬は、かならずつないでおきましょう

教師の責務の重大性(上)

教育委員長 藤田五郎



正月休みに東京都教育長小尾藤雄氏の著書を読んでいたが、一般社会の人々が教師という職業をどうな気持ちで見ているかを面白く説明しているのを見て感心した。私も大参考になったのでその要点を御披露したいと思つてペンをとった。

外国の映画を見て感じるところは、教師に対する尊敬である。キヤンク映画や西部劇等を見て悪人共は教師に対しては特別扱いで手を出さない。明治、大正の文学等を見ると教師に対して同様なことが言えるようである。教師を悪徳にしたような小説は殆んど見られぬ。最近では少し少なくなったが、明治初期に救世済民の道を教職に求めた士族群によって樹立された教師の権威は、いやなほどに教師を尊敬する心を國民の心に植えつけた。先生と呼ばれる程の黒面でないという川柳も教師の世間知らずをあらわしたものと願われるが、一面名利に憧れてきた教師への敬愛の気持ちを含めた

と云く人がいるが、教育委員長である私もそのことを確信している。然し仕事の重要さとか仕事の大変さといふものは、多くの人の進歩を納めさせることは出来ないうる。寧ろ先生は香気な商売だ等と思つて居る人もかなり居るかも知れないのである。吾が中里村の如く農家の多い所は農家の労働時間は長い。その上昔風や水書や日照りの心配もある。長い間の骨折りや天災で一瞬にしてまたなつてしまふこともある。また中

小企業の人々は毎日の仕事の成敗に一喜一憂し瞬時の油断も出来ない。大企業でも仕事のノルマや責任は重く社員の高給のしかつて居る。そこへゆく教師は夏休みもあるし大体定期的に帰宅出来る。教室での仕事は自分の思う通りにやつて他の干渉は殆んど受けない。よそ目にはまことに呑気な自由な職業に見えるのも一存もともとも言えるのである。然し、この教師の仕事の自由さというものが自主性こそ教師の仕事の苦しさがあることを考へるのである。(以下次号)

各地区で おかあさんの学級

大雪にもめげず各地区でお母さんたちの学級が盛んである。公民館では、毎年冬期間を中心として、学校やPTA、婦人会と共に、学校教育を聞いています。準備が社会教育学校を聞いています。今年も田沢小、高道山小、岡野地区で家庭教育学校、倉俣地区、清津地区で婦人学級を開き、毎月一回開催して、子どもの問題や家庭生活、社会問題、保健衛生などについて、しんげんにばんぎょうを行っています。

二月の各学級の計画は次のとおりです。とより近所をい

楽しかった 村民娯楽大会

去る二月十一日、中里村公民館主催で、恒例の村民娯楽大会が、中央公民館において開催された。この趣旨は健全なるレクリエーションを通じて村民の親睦をはかるといふもので、当日は朝から晴降り、出足がにぶるんじやないかと心配されたが、「遊ぶ時は何か降つていた方が気晴らしいせ」といふ声がかれたが、麻雀、囲碁、将棋、百人一首と五十人近くの同好者が集まり、一日中ゆかいにたのしく遊ばされた。なお各種目一位から三位までの入賞者は次のとおり。

◎麻雀の部
一位 広田 フヨ(山崎)
二位 江村 昌寿(〃)
三位 樋口 聡(通り山)

◎囲碁
田沢小一年 滝沢かずみ
とつちゃんは、まじり口土でとつぽんをきつたなぐしてきませう。

◎百人一首
一位 廣瀬 豊子(程島)
二位 樋口 源一(白羽毛)
三位 大島 カウ(山崎)

◎将棋の部
一位 深見保三郎(角間)
二位 山本 昭(小原)
三位 鈴木 喜行(重地)

◎百人一首
一位 廣瀬 豊子(程島)
二位 樋口 源一(白羽毛)
三位 大島 カウ(山崎)

◎囲碁の部
田沢小一年 滝沢かずみ
とつちゃんは、まじり口土でとつぽんをきつたなぐしてきませう。

そのとき、とつちゃんは「すげえ」といって、とつぽんをきつたなぐしてきませう。とつぽんをきつたなぐしてきませう。とつぽんをきつたなぐしてきませう。